

ユルンヤーコプ・ティム& アンドレアス・ティム& 内藤 江美

*Jürnjakob Timm &
Andreas Timm &
Emi Naitoh*



チェロ:ユルンヤーコプ・ティム

チェロ:アンドレアス・ティム

ピアノ:内藤江美

PROGRAM

G.ヘンデル:トリオ・ソナタ ト短調 Op.2 第8番 HWV393

G. Händel : Trio Sonata g moll Op.2, No.8, HWV393

L.v.ベートーヴェン:チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 Op.5-2

L.v. Beethoven : Cello Sonata No. 2 g moll Op.5-2

J.バリエール:2本のチェロのためのソナタ 第10番 ト長調

J. Barrière : Sonate pour 2 violoncelle No.10 G dur

D.ポッパー:テンポ・デイ・マルチア Op.16a

D. Popper : Tempo di Marcia Op.16a

R.シューマン:アダージョとアレグロ Op.70

R. Schumann : Adagio und Allegro Op.70

G.フォーレ:エレジー Op.24

G. Fauré : Élégie Op.24

A.ピアッティ:セレナーデ ニ長調

A. Piatti : Serenade D dur

2025

11.26 水 19:00開演
[18:30開場]

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

Ticket 【全自由席・税込】

一般 4,000円 / 学生 2,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

マネジメント /  クラシック名古屋 052-678-5310

後援 / 名古屋市立菊里高等学校音楽科同窓会、名古屋市、名古屋市教育委員会

プレイガイド / **アイ・チケット** 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>

芸文プレイガイド 052-972-0430

Profile



ユルンヤーコブ・ティム (チェロ) Jürnjakob Timm

1949年ドイツ生まれ。幼少よりピアノのレッスンを受け、13歳よりチェロを始め、ライプツィヒ音楽大学で、フリードマン・エルベン氏に師事し、1970年～73年まで、同大学院で研鑽を積む。この間モスクワやマルクノイキルヒェン、ジュネーブ等の国際音楽コンクールで数々の賞を獲得し、1973年よりライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の首席チェリストとして迎えられると同時にゲヴァントハウス弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍を始める。ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団は世界最古の民間オーケストラで楽団の結成は1743年。メンデルスゾーン、フルトヴェングラー、コンヴィチユニーら時代を代表する音楽家たちが歴代の常任指揮者を務めた200年以上の歴史を誇るドイツ正統派音楽の源流である。彼の演奏活動は、ヨーロッパ各地、アメリカ、南アメリカ、日本などに及びオーケストラの首席チェリストとして(クルト・マズア指揮のもとソリストとしての演奏回数は60回にも及んでいる)またソロチェリストとしても世界的な名声を得てきた。「プラハの春国際音楽祭」「シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭」や、グラナダやアンアーバーなど世界各地の音楽祭にもソリストとして招かれてきた他、ドイツ内外の数々のオーケストラや室内楽団との共演も多い。1978年にはライプツィヒ音楽大学の講師、1986年より1999年まで教授を務める。古くはLP、現在はCD録音も数多い。新しい作品の初演も多く手がけている。1993年より2011年までパイロイト音楽祭オーケストラの首席チェリストも務めた。2015年長年首席チェロ奏者を務めたゲヴァントハウス管弦楽団を、そして2016年にはゲヴァントハウス弦楽四重奏団を退団したが2018年より再びメンバーに戻り、海外での演奏旅行などにも加わっている。その他、ソロリサイタル、アンサンブル・ライプツィヒ・ベルリン(ゲヴァントハウス管弦楽団のメンバーとベルリンフィルのメンバー合同のアンサンブル)をはじめ、各種の室内楽団との共演など幅広い演奏活動が続けている。



アンドレアス・ティム (チェロ) Andreas Timm

1975年ドイツ生まれ。ライプツィヒ及びリュベックの音楽大学で学ぶ。ザールブリュッケンにおいてグスタフ・リヴィニウス(1990年チャイコフスキー国際コンクールチェロ部門優勝者)に師事。2004年、最高位で演奏家資格試験に合格。ドイツ国内の数々のコンクールで受賞後、2001年マルクノイキルヒェン国際器楽コンクール チェロ部門で準優勝。同時にドイツ奨学金財団の給費生となりハンブルクで研鑽を積む。2002年ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団の準首席奏者に就任。ソリストとして出演するオーケストラ・コンサートでは、ヘリベルト・エッサー、ガブリエル・フェルツそしてマックス・ボンマーといった高名な指揮者と共演。室内楽奏者として、ジャンルカ・カシオーリ(ウンベルト・ミケーリ国際ピアノコンクール優勝者)、エドゥアルド・ブルンナー(バイエルン放送響首席クラリネット奏者)、ミヒャエル・エンドレス、ならびにヴェンツェル・フックス(ベルリンフィル首席クラリネット奏者)、アルブレヒト・マイヤー(ベルリンフィル首席オーボエ奏者)といった著名な演奏家たちと共演。ホーレンシュタイン・アンサンブル、シュパンツィヒ・トリオ、アンサンブル・ライプツィヒ・ベルリン、フィルハーモニー・カメラータ・ベルリンといったアンサンブルのメンバーとしても活躍。東京ストリングス・フェスティヴァル、ルクセンブルクのエシュテルナツハ国際音楽祭、ハンブルク・ブラームスフェスティヴァル、2000年のライプツィヒでのバッハ音楽祭、メンデルスゾーン音楽週間といった名高い室内楽フェスティヴァルへの招待演奏を行う。ゲヴァントハウスオーケストラ元首席チェリストを父とし、ベルリンフィル首席第2ヴァイオリンの兄とともに今世界で最も注目される若手演奏家の一人である。

内藤 江美(ピアノ) Emi Naitoh

名古屋市立菊里高等学校音楽科、東京藝術大学を経て、同大学大学院修了。第32回全日本学生コンクール ピアノ部門 高校の部、西日本大会入選。第33回同コンクール西日本大会1位。1985年日本演奏連盟賞受賞。外山雄三指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。1986-87年国際ロータリー財団奨学生として、ミュンヘン国立音楽大学に留学。88年ウィーン夏期講習に参加、ハンス・ペーター・マンドル氏のレッスンを受講。第2回東邦ガス・名フィルファミリーコンサートに出演。89年ソレイユ新人オーディション優秀賞受賞。87年、90年名古屋でソロリサイタル、95年ワルシャワ・ソロイスト、2002年、04年プロ・アルテ弦楽四重奏団、11年ドレスデン・フィル弦楽三重奏団、17年、19年チェリストのユルンヤーコブ・ティム氏との共演の他、室内楽、伴奏においても活躍。澤田実佳、近藤千穂、田村宏、カール=ハインツ・ディールの各氏に師事。現在、名古屋市立菊里高等学校教諭。

